



平成30年4月10日

## 平成29年度北海道開発局営繕部総合評価審査委員会 の審議概要について

平成30年3月26日（月）に開催された、平成29年度北海道開発局営繕部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

営繕部 技術・評価課 営繕監督官 新井 琢也（内線5783）

営繕部 営繕管理課 営繕契約専門官 後藤田 政晴（内線5715）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



平成 29 年度 北海道開発局営繕部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成30年 3 月26日 (月) 札幌第 1 合同庁舎10階共用第 4 会議室
委員	菊地 優 (きくち まさる) 北海道大学大学院教授 久保 勝裕 (くぼ かつひろ) 北海道科学大学教授 羽山 広文 (はやま ひろふみ) 北海道大学大学院教授 (五十音順)
議 事	I 実施報告 (1) 平成29年度 工事の総合評価落札方式の実施状況 (2) 平成29年度 建築関係コンサルタント業務等の実施状況 (3) 平成29年度 総合評価審査委員による個別審査の概要 II 運用方針 (1) 平成30年度 工事における総合評価落札方式の運用方針 (案) (2) 平成30年度 建築関係コンサルタント業務発注方式の運用方針 (案) III 意見交換

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	回 答
<p>I 実施状況について</p> <p>&lt; 工事 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工能力評価型Ⅱ型の評価項目別得点率で、非落札者より、落札者の得点率が低い理由は何か。</li> <li>・調査基準価格未満であっても、一律失格にはならないのか。調査基準価格未満で、落札した例はあるか。</li> </ul> <p>II 運用方針 (案) について</p> <p>&lt; 工事 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WTO対象金額の変更は、為替レートの変動と聞いているが、何に対して変更しているか。</li> <li>・建築CPD運営会議加入団体の、建築設備士関係団体とは、具体的にどこか。建築関係の団体が多く、設備関係の団体が少ないのではないか。</li> <li>・CPDの評価を選択しないと、制度の普及にならない。制度の普及につながるよう、将来に向けての対応が必要。</li> <li>・総合評価落札方式の評価項目の選択項目について、選択をどう判断するのか。</li> </ul> <p>III 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格超過を含めた入札者全体の集計のため、予定価格超過で非落札者となった者の得点率が高かったこと、1者応札の割合が高く落札者となった者の得点率が低かったことが考えられる。</li> <li>・失格にはならず、施工体制の確認を行う。今年度は調査基準価格未満での落札事例はない。</li> <li>・IMFの通貨単位(SDR)に対しての変動である。2年ごとに見直しがなされている。</li> <li>・建築設備士関係団体CPD協議会の構成員は、(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)建築設備技術者協会、(一社)電気設備学会、(一社)日本設備設計事務所協会、(公財)建築技術教育普及センターである。単体で記載している団体は、単体で登録している団体である。</li> <li>・H29年度は、WTO案件と機械装置を除く全工事に適用している。普及を図れるよう対応を考えていきたい。</li> <li>・工事の内容・規模、地域の特性により、工事ごとに判断する。</li> </ul>